

受講前と受講後で自分に行動や考えに変化が生まれたかどうかを含めての感想を記入しなさい

人に情報を伝えるときに、いろいろなシチュエーションに置かれている人々に対してもわかりやすく説明する方法やいい写真の撮り方を教えてもらったので、自分の将来の夢の職業では人の前に立ちいろいろ話したり、教えたりするような職業なので、子供や大人に対してもわかりやすく物事を伝えられるように今日もらった資料を読み返して活用できればなおいい、これから人の前で話す機会では、今日学んだことを活用していければいいと思います。

メディア関係に興味があり、どのようなことに気を付けて人々に情報を伝えているのだろうと思い、講座を受講しました。お話を聞いて、人のことを考えることが最も大切だと思いました。また、インタビューの方法なども学びました。とことんその人のことについて下調べをすること、事前に質問を考えておくことが大切だと学びました。文面で人に伝えるためには、具体的に主語と述語をしっかりと書くこと、信頼できるものをデータとして使うことが重要だと学びました。私はディベート活動をしているので、他人に自分の意見を伝えることがとても大切です。特に英語という第一言語ではないものなので、今日学んだことを常に意識する必要があるなと感じました。

ニュースの捉え方が変わる講座だった。実際に家でも読んでいたので新聞は身近な存在ではあったが、すべてを読む気にはなれていなかった。しかし、普段目にしていない記事の一つ一つがたくさんの人の考えと努力でできているということを改めて知り、より興味がわいた。その文章だけでなく構成や写真等の図にも様々な工夫がなされているということも知ったので、ニュースの内容だけでなく新聞自体についてもフォーカスしながら読み進めていきたい。

実際に新聞記者をやっている方に話を聞くことは今までなかったもので、とても貴重な話を聞かせていただいたと思います。私の家は子ども新聞しかとっておらず、あまり新聞に触れる機会が少ないうえに、子ども新聞でさえあまり読んでいなかったのですが、今回のお話を聞いて、まずは目に入れるだけでもやってみようかなと思いました。新聞の全文は読まず、見出しと前分を読めばいいとおっしゃっていたので、見出し、前分を読んでみようと思いました。

自分が関心のあるメディア関係の職業の方からお話を聞くことが出来てとても有意義な時間になりました。神戸新聞社の新聞記者の方からお話を聞きましたが、毎日様々な場所で様々な取材が行われていると知りました。ほかにも、新聞の特徴を教えてくださいました。新聞の特徴は一目でニュースが分かることと自分が興味のあるニュース以外も目につきやすいことです。私は普段ネットニュースをよく見るけれどそれでは自分の興味のある分野の情報しか入ってこないのだからからは新聞も読んでいきたいと思いました。

友達のお父さんがサンデースポーツの記者をしているのでどんな仕事なのか知ることが出来た。毎日膨大な量の記事や写真を掲載できる理由や新聞作りの秘密、コツも知ることが出来た。講師の方の話で、「新聞がすべきことは人命・人権を守ることだ」という話があり、事実を報道することで地球上にある様々な問題を解決することができるんだなと思った。自分を含めた最近の若者は新聞ではなくネットニュースから情報を得ていることが多いので、フェイクニュースに騙されないようにしたい。また、まだ決められていない将来の夢の候補の内の1つにしたい。

スマホのニュースも元は新聞の記事からきていると知って、近代化が進んでも原点はやはり昔からあるものなんだと実感しました。そして、人の目で印刷に間違いがないか確かめられていると知って、人間だと遅いし考えなくてもできることだからこれこそ機械がやりそうな仕事なのにと驚いたし、いろんなことが機械化されているけどそれらよりもっと機械化するべきものがたくさんあるんだろうなと思いました。他にもインタビューの仕方や新聞の読み方がわかってよかったです。

この講座を通して、新聞が持つ力を改めて知りました。新聞は正確なニュースを載せていて、それらを作るために想像もしたいほどの時間をかけていて、しかも何かトラブルとかあったらそのニュースがボツになってしまうこともあるので、すごく大変で途方もない仕事だなと思いました。新聞の記者さんはたくさんの有名人と会えるしめっちゃいい仕事だなと思ってたけど、その背景にはさまざまなほどの労力があって、奥が深いなと思いました。

毎日普段当たり前のようにある新聞だけど、色んな人たちの力があって私たちの元に届けられているんだなと感銘を受けました。社員700人のうち記者が200人もいると聞き、取材に対する熱量の大きさに驚きました。また、読者に分かりやすく伝えるためにレイアウトや写真の構図、文章の書き方など効果的な方法を用いていることがわかりました。新聞は森羅万象、色んな情報がきちんと裏付けられたものになっているので、今回聞いた話を元に改めて新聞を読もうと思いました。

印象に残ったのは災害や事故などに巻き込まれた人の遺族に取材するのがとてもつらいが仕事だからしなければいけないということ。自分なら相手にどう話しかけるのが正解なのかわからなくて傷つけてしまうような発言をしてしまうかもしれないと思った。また、自分の記事が紙上に掲載されて、社会に出回るということは自分の生み出したものが日本中の人々の目に入るということで、すごいことだなと思いました。これからは新聞を読む機会があればそれを書くための記者や職員の方々のことも考えながら読もうと思いました。

これまでの僕の新聞を読む機会は夏のシーズンのプロ野球ニュースぐらいでした。たまに面白そうな話題の記事は読むことがあり気が付いたら時間がたっているということがあります。あれだけ苦労して作っているのを聞くともっと読まないなと感じました。今日家に帰ったら見出しだけでもいいから読んでみたいと思います。正直あんなにこの世の情報を簡潔にまとめているとは思わなかったのでも身近にその情報を得る機会がありうれしく、誇らしい気持ちです。

僕は今まで全くと言っていいほど新聞を読んできませんでした。しかし、今回のこの講演で新聞の読み方について話してもらい、その中で見出しをざっとみるだけでも全体像が見えてくるから十分という話を聞き、短い時間でも新聞を読むことができるんだと知れました。また、新聞記者はいろいろな有名人にも会うことができると話していました。しかし、犯罪の被害にあった方やその家族に取材しにいのが一番大変ということを知り、楽しいことだけじゃないんだなと思いました。

ネットニュースでどんな情報もニュースも入手できる現代でも新聞というメディアを利用するにはメリットがあるとわかった。フェイクニュースも上がってしまうようなネットニュースとは違い正しい情報を見やすく分かりやすくなるよう作られるのが新聞の良さだと思った。様々な情報が溢れる時代だから情報リテラシーが大事にしたい。新聞でも重要になってくる写真の撮り方についても教わられてよかった。被写体を真ん中には置かないことや、三角、対角の配置など、写真を撮る機会はたくさんあるので活用してみたい

5時間目に聞いた神戸新聞の記者さんによる『新聞の話』では新聞についてどのようにして新聞が作られるかという話や新聞記者という仕事はどのようなことをやりがいやきっかけですることもなったのかということを知りました。その中で一番面白いと思ったのは三好さんの記者になったきっかけで、そのきっかけは有名人に会いたいからという物でした。初めにそのきっかけを聞いた時はそんな理由から仕事になるということを知って意外と簡単な理由で仕事になるんだなと思いました。

新聞を家で読むことがないので新聞について知らないことが多かったけど今回の講義ですこしは知ることができました。新聞が読む人の家や、店に届くまでの行程を知り毎朝違う内容のものを作り上げるのはすごく大変だなと思いました。新聞にかかわらず、ニュースなども当てはまることだけど犯罪などの被害者からの取材は、取材をされる被害者の方ももちろん、取材をする記者の方々も大変な思いをしているんだと知りました。新聞をはじめから最後まですべて読み切ったことはないけど、毎日取材をしたり、文章を完成させたり、そういった過程を知ったので一度最後まで読んでみようと思いました。

私は新聞を普段読むことがなくて、読んだことがあるのが学校の授業で資料として使ったことが五回もないくらいだったのでなにも新聞について知識がなかったんですが、新聞の構成とか新聞ができるまでの工程を詳しく知れました。新聞の記事を書く人たちは正確な記事、豊かな記事、わかりやすい記事を心掛けていて一つ一つ丁寧に作っているとわかったし、見出しと前文を読むとほとんど内容が分かると聞いたので、フェイクニュースも含まれるネットにゆーすだけをみるのでは新聞を読んでみる機会を作ってみようと思いました。

今まであまり新聞について知らなかったのですが、今回の講座を聞いてたくさんの人々が新聞を作るために関わっていることがわかりました。地域密着型の新聞なので、東京大阪神戸だけでなく兵庫県内の地方ごとに記者が散らばっているし、原稿を作成する人もたくさんいるので新聞を毎日作るには大変な工程があることに新聞の複雑さから見てよくわかりました。現代では新聞を読むことは少なくなってきていますが、情報収集などでも役立つので活用してきていきたいと思いました。

講座を受ける前は、しんぶんしゃではたらいっているひとがどんなしごとをしているのかよくわかっていなかったけど、講座を受けて、新聞社では大勢の社員さんや記者の方々が1枚の新聞を作るのに携わっていて、様々な過程を経て新聞が家に届いていることを知った。また、自分の企画した企画の評判がよかったり、取材したものが社会に大きな影響を与えた時などにとてもやりがいを感じるそうで、自分が携わることのよさを感じました。

私は新聞をほぼ読んだことがなくて、新聞自体に興味がありませんでした。この講座を聞く前は新聞なんか文字ばかりで大変だし、書いてあることも大人向けの時事問題ばかりで私には理解しがたいと思っていました。ですが、受講後になると、新聞が作られるまでに「取材」「編集会議」「編集」「印刷」というたくさんの過程を経ていることを知り、新聞のためにたくさんの人と時間がかかっているのだと感じました。さらに、私は校閲という仕事をモチーフにしたドラマを見たことがあり、そのドラマが好きだったので過程の中にある「編集」で本当にできてきたときはとても興味が湧きました。また新聞を読む機会があれば細かいところに注目して読んでみたいです。

私自身、その辺の高校生よりは新聞を読んでいるほうだとは思っているのですが、新聞記者の方に話を聞く機会はほとんどなかったのでもう一度意味ではよい機会でした。記者の方のお話を聞いたのはたしか小学校5年生の時に神戸新聞本社に校外学習に行ったとき以来かな？と思います。内容としてもかなりボリュームがあり、また面白いものでした。私自身、記者になりたいと思ったことは生まれてこの方一度もありませんが、信頼できる情報を届けるという仕事は興味があります。私の家に毎朝神戸新聞が届くからかもしれません。この新聞ができるまでにどういった過程を踏んでいるのか？どれだけの人が携わっているのか？今まで考えたことも考えようと思ったこともありませんでした。当然ながら調べたことも調べようと思ったこともありません。気に留めたこともありませんし。そんな感じで自ら調べようとならない人間なので今回この機会を得られたことはとても良かったです。新聞の人権と人命を守るという役割はこの社会が機能するために必要不可欠なことだと思います。先日の神戸家裁の少年A事件の裁判記録を廃棄したという問題を最初に報道したのが神戸新聞社とは初耳でした。そこから、全国の少年事件の裁判記録のいくつかが廃棄されていると判明し社会問題となったわけですから、新聞が与える影響力の大きさを実感しました。

新聞やったりSNSとかの情報を入手する時の全部を鵜呑みにしないとかの自分の考え方に変化があったと思うし、テレビとかTikTokとか自動的に情報が流れてくるもので情報を得るだけじゃなくて、新聞とかネット記事とか自分から情報を得ようとする行動が大切だと学びました。

普段新聞を読む機会はあまりないけれど、何気なく目を通すだけでも、レイアウトや見出しの文字や量に様々な工夫がされていてとても面白いと思いました。取材する側も制限時間を考慮して質問を簡略化したり、下調べしたりして、お互いに無駄な時間が発生しないようにしているのは文章力やコミュニケーション能力が必要になってくるんだなと思いました。将来新聞関係の仕事に就く予定はないけれど、「いかに簡潔に莫大な情報の必要な部分をまとめて伝えるか」は今後社会に出るうえでも生きてくるスキルだと感じたから、普段の国語の百字要約などで短くまとめる力を伸ばすようにしたいと思います。

講師の三好さんから神戸新聞ができるまでの過程、記者を目指した理由ややりがいなどを講義で聞きました。写真にも三角構図や三分割法を使って読者に情報をわかりやすく伝えていることを知って新聞製作の繊細さに驚きました。印象に残ったことは、現代でインターネットが普及し新聞を読む人が減っていることです。最近ではネットで情報が回っているけれど、情報源は新聞だと聞いて、私たちが新聞を読むべきだと思いました。10年後に同じ形の企業はいないと聞いて、自分なりの意見を持ち、一番興味深いことを探していこうと思います。

新聞社の方の話を伺って、コロナやウクライナ進行で大変な今海外の生のニュースに触れることが大切と聞き、とても納得しました。私は日本の新聞にさえ触れる機会がとて少ないので、これから心掛けていきたいです。その中で、新聞は見出しを読むだけでも価値があるという風に聞いてそういう読み方もあるんだと初めて知りました。難しそうなイメージが強かったけどそう聞くととても読みやすそうに思えました。また、ネット上でも読めると聞いたので通学中に読んだりしてみようと思います。

今回、神戸新聞社の方のお話を聞いて、新聞をつくる上で大切なのは人命と人権を守ることと信頼出来る情報を伝えることだということがわかり、また新聞ができるまでの工程を詳しく動画などで知ることができてとても面白かったです。新聞ができるまでにはたくさんの方が関わっていて私が普段読んでいる新聞はこんなにも多くの工程があってから私の元へきていると思うとこれからも新聞を毎日じっくり読もうと思えました。また、新聞記者の方が新聞記者をしていると有名人に会うことができるとおっしゃっていて私もあってみたいなと思いました。新聞の記事はだいたい見出しと前文を読めば内容が理解出来るようになっていくということを知れたので、今度から時間がない時はまずそれだけでも読もうと

講座を受ける前は新聞記者の仕事は大変という漠然とした認識でしたが、コメントを引き出す話術や文章をわかりやすくまとめる力などを必要とする仕事なのだ学びました。また、私は新聞を見ると何万という文字が並んでいて取っ掛かりにくく感じてしまうのですが、最初はリード文と前文を読むだけで良いと教えていただき、「新聞を読む」ということに対する敷居が低く感じられるようになりました。これからはネットニュースだけではなく、新聞からも情報を得ていきたいと思えます。

僕の家庭ではちょうど今年の3月で新聞の購読をやめるという話になっていました。でも今回のお話を聞いて、新聞1刊作るためにたくさんの方が関わっていることがわかって、今まで何気なく読んでいたものにたくさんの方が関わっていたことを学びました。今デジタル化が進む中で新聞業界は厳しい状況になりつつあるけど、それぞれに信念を持って仕事をしている方々がいることを、もっと多くの人に知ってもらいたいなと思いました。

この講座を希望したのは、普段新聞を読むことが多いので聞いてみようかな、という軽い気持ちでしたが、新聞記者の仕事内容の話を聞いて、面白そうだなと思いました。また、普段私たちが何気なく読んでいる新聞には沢山の工夫と努力があってからこそなのだ知り、もっと写真の位置や題名の工夫にも気をつけながら読みたいと思いました。資格の取得も必要ないので、自分が学びたい分野を自由に学んでから、就職できるところが利点だなと思いました。

「人名と人権を守り」と「信頼出来る情報を届ける」ということを講演中に何度もおっしゃっていて、こういった人々のおかげでわたしたちは信頼できる情報を手に入れることができ、安心して生活出来ているんだなと気づいた。レイアウトひとつでその新聞の読みやすさが変わるらしいので、新聞は繊細だなと思いました。記事の書き方は普段の私たちの発表の時などにも使えると思うので、また発表の原稿を書くときは今回教えてもらった書き方を意識して書いてみたい。

私と同じくらいの若者はあまり新聞で情報を得ることは少なく、デジタルでの情報を受け取りがちだけれど、今回の講演を受けて、デジタルの情報よりも紙の情報のほうが信頼性が高いと感じた。また、災害によって電気やガスなどのライフラインが使用できない時こそ新聞が役立つと感じた。また、自分が想像している以上に新聞の存在のおかげで幸せになれる人がいると知って驚いた。

私は三好さんの講演会「神戸新聞の話」の講演会に参加して大きく成長できたと思う。三好さんが冒頭部分でおっしゃられていた新聞記者になりたい人を増やしたいという目標を叶えられたと思う。新聞がどのように作られていて何を考えて写真を撮ったり記事を書いたりしているかがわかった気がする。新聞記者はやりがいもあるが悲しいことも取材しないといけないので屈強なメンタルが必要だということもわかった。メンタルはどんな仕事でも大切だと思った。

今回の講座を聴いて、人生には色々な出来事があり、また人生には浮き沈みがあってその転機で人生が変わるということをまなぶことができました。様々な苦難があっても人生には浮き沈みがあるということをしきりに生きていきたくありません。また今回の講座の人は皆さんのプロフィールをもっていきんせいにいってじぶんかすすみたいみちにすすんでいちどだけのじんせいだとおもってがんばっていきたくありません。

最近、できるだけ毎日新聞を読むことを意識していて新聞には興味があったので、直接話を聞かないと分からないことを知ることができたのがよかったです。ネットニュースもよく見っていますが、新聞にはフェイクニュースがほとんどなく、ネットニュースにはない正確性があるという話を聞き、新聞を読むことの重要性和信頼性を感じました。また、ただあったことや相手が話したことをそのまま書いているわけではなく、記者にしか分からない相手の身振りや表情などの豊かさが伝わるようにしていることを初めて知りました。

新聞は身近にあるけど、それについて詳しいことは全然知らなかったけど、今回の講演会で新聞が自分たちやお店に届くまでの流れを知ることができました。記者っていうのは大変なお仕事だというイメージしか持っていなかったけど、三好さんのお話を聞くと、やりがいを感じられるお仕事でもあったので、良いイメージも持つことができました。新聞の役割が人命と人権を守ることだと聞いてすごく責任が必要だということを感じたと同時に、自分たちは新聞に助けられていることがたくさんあるんだなと思いました。

私は、今回講義を聞いて新聞について今まで詳しく知らなかったけれどたくさんの人の願いや思いが詰まっていると知って素敵だなと思いました。新聞は正確さ、迅速さ、わかりやすさが最も重要だということを知りました。お話の中で何度も「人命と弱い立場の人たちの人権を守りたい、君たちにも将来そんな人になってほしい。」とおっしゃっていて私もいつかそんな人になりたいなと強く思いました。仕事のやりがいは、自分の書いた記事で法律が変わったり、亡くなった方の生きた証を残せることだと聞いて私にも今できることは自分の意見を明確にし持つことだと思うのでこれから頑張っていきたいと思います。

新聞の話では新聞のある意義、良さと言うものを知ることができました。今の時代インターネットで簡単に情報がわかるので、新聞を読む意味はあまりないと考えていました。ただ今回の話を聞いて、新聞はとてもいいものだと感じました。インターネットの情報は誰でも作ることができるのでフェイクなど言ってしまう信ぴょう性が薄い場合があり、それが本当なのか何を信用すればいいのを見分けなければいけません。しかし新聞ではしっかりとした情報が載っており安心して見ることができるし、神戸新聞では地域の情報がたくさん書かれているのでいろいろなことが知るところができます。また、書き方にも工夫があり興味がないようなもの視界に入るようになってきているので新たな発見ができるかもしれない。これらの点から新聞というのは情報収集には欠かせないものだと思います。そして新聞を読もうかなと思いました。

新聞会社は正直すごくめんどくさい仕事なのかなと思っていました。今回の講演会を聞いてすごく大変だけど、おもしろくてやりがいのある仕事だと言う印象が変わりました。被害にあった方々などにお話を聞くのは、とても辛い事ですが、逆に会いたかった有名人にインタビューができたりして、私もなってみたいなと考えるようになりました。そして私は文章をかくことが好きなので、記者の方が記事を書く時、様々な表現法を使って文章を工夫していると聞いた時は素直に書きたいと思いました。記者になるためには自分の興味さえあれば他は何もいらないので、よりよい社会をつくるためにも、自分も挑戦してみようかなと思いました。

記者になりたかった理由が有名人と会えると思ったということが1番 衝撃的でした。話している時 講師の人の表情がいつもイキイキと楽しそうで、心から仕事が楽しいんだという気持ちがすごく伝わってきました。私も自分が楽しいと思える仕事に就きたいと感じました。

家は新聞を取っていて、SNSで何でも見れる時代になぜ新聞を取っているのかと疑問に思っていました。でも、網羅性と信頼性が高く、事実の裏付けがされているので、フェイクニュースの多いSNSとは違った需要があるというのを聞いて納得しました。

自分は新聞記者やテレビ関係者や週刊誌などのマスコミに対してあまり良い印象を持っていませんでしたが今回受講して多少は良い印象を持ちました。あまり興味のある講座では無かったけど話を聞くと意外に面白かったです。記者の人は真摯に新聞に向き合っていて素晴らしいと思いました。私は新聞は読まないし今後新聞関係の仕事に就こうとも思わないけど正しい情報を得るということはこれからも意識していきたいと改めて思いました。

新聞は今まであまりしっかりと呼んだことはなかったし「新聞」そのもののよさみたいなものを学ぶことができたので良かったです。これからの社会、情報が重要になってくると思うので今回のお話を聞くことができとても良い機会になりました。他にも自分は読む側で記者の立場や編集者のことなどあまり考えたこともなかったし、新聞ができるまでの流れというのも学ぶことができたので良かったです。そして震災のことなども語り継いでいかなければいけないなと感じました。

6時間目には、神戸新聞社で新聞記者として勤務する方に講演をしていただいた。その方が新聞記者を目指した理由は有名人に会えると思ったからだそう。そして、新聞記者をしているやりがいは、自分がニュースを報道することで社会がよりよいほうに代わることがあることだそうです。

三好さんの話を聞いて新聞は人と人をつなげてくれる一種のコミュニケーションだと感じました。新聞離れをしている私たちの世代ですが、三好さんのおっしゃっていたように、まずは自分の興味のある見出しや全文だけでも読んでみようともいいました。学校の授業などでインタビューの課題が出ることもあるけど、今回インタビューにおいて、下調べをきちんとすること、3つの的を得た質問を用意していくことが大事であるということを知れたの、次回だれかにインタビューするときに実践しようとおもいました。

私は今回新聞記者の話聞いて最初はどのような仕事か全くわからなかったけど聞いていると新しいことも知れたことが面白かったです。印象に残っているものとして特に写真は100字の文章よりも情報になることもある、大切なこととして子供にもわかりやすいように簡潔にわかりやすい文章で書くことを心がけていることを知りました。また、仕事をしている中で記事がきっかけで知ってくること、興味を持って企画展に来てくれることが嬉しいことだとわかりました。

講座を通して考えたことや感想を記入しなさい

僕が今回の探求の日で学んだ一番大きなことは、人とのつながりを大事にしなければならないということです。特に七時間目の考えを発表しあう時間では、8つのこうごのうち、6つはコミュニケーションや、人とのつながりを大事にするべきだというものでした。なのでこれからは、授業や業間などでも、積極的に機にコミュニケーションをとっていきたいと思います。

今回は自分が興味のある、メディア関係、外形の企業の方に話を聞くことができて、とても面白かったです。特に、神戸新聞の三好さんはとても独特な雰囲気を持っていらっしゃったので、話を聞くのがとても楽しかったです。その中で、インタビューの仕方、わかりやすい伝え方などを教えてください、これからの授業や課外活動に生かせようだなと思いました。神戸市職員の方の話では、一年間で部署が移動するため、様々なことに関わることができるというはなしにとっても興味を持ちました。いろいろなことに挑戦したい私はあっているのではないかと思い、将来の選択肢が広がりました。

今まで知らなかった分野の話をたくさん聞くことができ、自分の将来への視野が大きく広がった気がした。自分のやりたいことは何なのか、そしてそれを実現させるには何をすべきか、改めて考え直すことができたと思う。

この先も聞けることのないようなとても貴重な話を聞けて、とても楽しかったし、とても刺激されました。講義の後のみんなの話も聞いて、いろんな人がいて、いろんな考え方が折るのだなと、改めて感じました。ほかの協議も聞きたかったのですが、とても楽しかったです。

普段社会人のかたからお話をきくことはないのでもいい経験になりました。将来何をしたいのか漠然としか決まっていなかったけれど今回のお話でよりイメージしやすくなりました。大学や色々な職業を調べて、後になって後悔しないような選択ができるようにしたいと思いました。

どちらの方も自分のしたいこと、夢を仕事にできていたし、それが誰かのためになっていることがわかった。自分も大人になれば仕事に就くし、誰かのためになることをすると思うけれど、やっぱり自分のしたいことを仕事にしたいと改めて思ったし、そのために今のうちからある程度仕事の候補を考えて、その仕事が多様なものか、何が必要なのかを知っておきたい。

私は将来やりたいことや、やることが全く決まっていなくて悩んでいたけれど、この講座を通して私が思っているよりもたくさんの種類の仕事や選択肢があるなと思ったしいろんな生き方をしている人がいると思いました。また、知らなかったことや新しい考えを知ることができてまた視野が広がったと思いました。

自分が聞いた講座はめちゃくちゃ詳しく聞けて、すごく自分の身になったし、たくさんのお話を知れたこともうれしかったです。ほかの人からの話を聞いてこっちは聞いてみたいとかこんな話だったんだなと思って機会があれば聞いてみたいです。

今回の講演会を聞いて、合格したり1つの目標を達成して満足して終わり、ではなくその結果を活かして更なる目標を立てて努力する姿勢がすごいなと思いました。また、人生でうまくいかないときもあるけど、そこからの行動が大事で変わっていくことができるということを知りました。色々な職業の楽しさや大変さ、心構えを知ることができて良かったです。私も向上心を持って、現状に満足せずコツコツ努力していきたいなと思いました。

いろんな人の講座を受けてみて感じたことは、社会ではいろいろな特徴、思想の人々がいて、それぞれに合った職業があって、それぞれに合った働き方があるということです。このことは、将来社会に出てはT楽先を考えるときにとても重要なことだと思います。なので、今回の講座でそのことを学べて僥倖でした。

実業家などの話を聞く機会は珍しく貴重で大変いい機会になりました。僕はそんな人になるかどうかはわからないけれど、自分の仕事にプライドを持ったカッコいい人になりたいと思いました。高校生活でも責任を持てる人になりたいです。

今まで知らなかったことをいろいろ知れたので良かったです。身近なところで生かせる知識や、進路について役立つことなどを聞くことができて良かったなと思いました。これからは、今回聞いた話を生かせるようにしたい。

大人として働く未来がもうすぐ迫っている今、仕事や活動に関することについてもっと知ることでやりたい事の幅が広がったりすると思う。今日学んだ事があれば普段の生活での見方も変わってくる。自分のしたいことなどに目を向けるきっかけになった

今回の探求の話で自分の生活であまり関わることのない『新聞の話』と『研究をする仕事と研究を伝える仕事』についての話を聞いて、特に研究者さんの話は今の自分にも当てはまるような内容がありとても為になりました。また班の人の話を聞いて面白そうだなと思ったのもっと他の方の話を聞いてみたいなと思いたいなとおもいました。

二つの講座しか聞くことはできなかったけれどそれだけでも自分が知らなかったことをたくさん知ることができ、普段では知ることができないものまで講師の方のおかげで知ることができて自分の将来にきっと役に立つような講座だったなと思いました。

自分が知らないだけでいろんな種類の職業があることを知りました。だから、ひとつのことだけにとらわれずいろんな職業を知って一番自分に合う仕事に就きたいと思いました。それで新聞に関わる人は新聞を普段読む人のためとかカウンセラーの人は困っている人のために仕事をしているみたいに、仕事をする＝誰かの役に立つことをすることでもあるのかなと思いました。

今日の講座を聞いて社会で活躍されている方々の話を聞けてとても良かったなと思いました。なかなか高校生の頃から聞くことはできないと思うのでありがたかったです。この世界では色々な種類のことができて、様々な選択肢があってそれを生き抜いていくには今日言われたことを大事にしていきたいなと思いました。

僕は、今回興味のある内容について講座を聞くことができて、とてもいい機会だった。将来働くことについて、どのような職業もどこかで誰かの役に立っているんだなと感じ自分も将来世の役に立ちたいと思った。

今回の講座や、後でクラスで意見交換した時間を通してほとんどの会社は何かを支援するために活動しているのだと感心しました。また、たくさんの方がいますが、そこで働いている人は皆さんしている仕事のことが好きなのだなとも思いました。仕事をするには楽しくないとやっていけないし、私も自分にとって何が楽しいのか、なにが好きなのか、見つけていきたいと思いました。

5,6時間目はとてもとても有意義なものになりました。特に5時間目は面白い内容でした。気が付けば講師の方のお話に引き込まれていました。今回のこの経験が私の人生に生かされるかはわかりませんが、何かしらの役に立てればなお良いものになるかと思えます。また、そうなるよう少しは動いてみようと思います。

いい体験ができたとおもったし、自分の将来のことを考えるいい機会になったとおもいました。

普通の学校生活だけではなかなか触れることのないテーマ講義を受けることができて、知識的にもとても有意義な時間になりました。また、講師の方の進路選択の仕方ひとつの参考にしながら、これから先の進路選択に活かしていければなと思います。

五時間目の講師の三好さんも六時間目の講師の高橋先生も今はない仕事に就くかもしれないとおっしゃっていて、今ある仕事から決めるのではなく、自分の好きなこと興味のあることを続けていく、発見する、ことが重要だと感じました。きっかけはあらゆるところにあつていろんなことにアンテナを張り巡らせるべきだと思います。今回の抗議を終えて、もっと自分の将来のことを深く考え直そうと思いました。

二つの授業を通して、広い視野で物事を考えるのが大切ということに気づきました。スポーツの力ではスポーツ用品だけでなく施設やスポーツの機会を提供しているということ、新聞の話では大変な状況下の今こそ海外のニュースに直に触れることが大切ということを知りました。これから、私も方法や自分から物事への距離に捕らわれず柔軟に考えられる大人になりたいと思います。

友達と共有しあつた話では国際的に日本はずっと支援され続けてきたからこれからは長い目で見る利益や感謝の意を込めても他国特に発展途上国に支援すべきだという意見に今国際科でSDGsを習っているからこそとても興味深い話だなと感じられました。

学校外の方のお話を直にきくことができ、たくさん知識を新たに身につけることができとても興味深かったです。普段の生活なら体験できないようなことをこの時間で知ることができ、これからはもっと色々なことを知っていきたくて思っています。いつもなら詳しくしれないことを細かくきくことができとてもよかったです。またこれからはもっと社会問題について知っていき、新聞をたくさん読んでみようと思いました。1年生の間にこんなに貴重な話をきくことができ、これからの将来にも生かしていきたいと思いました。

今回受けたどちらの授業も私の中にあつた後ろ向きな気持ちを前向きな方向へ変えていただいた時間となりました。講師の先生の中には、自分ではどうすることもできないような困難が立ちだかつたときに逆転の発想をして今の仕事に出会われた方がいらつしました。そのお話をお聴きして、私も上手いかわからないことがあるときは好きなことを大切にして逆転の発想を生み出そうと努力したいと思いました。

今日僕がお話を聞いた方はどちらも時代の波に飲まれつつあるお仕事をしつらつ方々でした。ただそんな中でも自分の仕事にやり甲斐を持ち、新たな時代に合わせた工夫をしつらつ、とてもかっこいいなと思いました。僕も将来就く仕事にやり甲斐や価値を見出して社会の役に立てる人材になりたいと思いました。

班で意見を共有して思ったことは、みなさん、自分の仕事にやりがいを持っていて、すごく楽しそうだなと感じました。今回、私は自分の興味のある分野について話を聞きましたが、興味がない話も一度聞いてみたいなと思いました。将来自分も後輩に仕事の魅力を伝える立場になりたいと感じ、後悔のないような選択をしていきたいです。

今日話を聞いて、知らない仕事はつらつだったので自分の知っている世界はまだまだ狭いなと思いました。聞いたことない職業のものもあつたし、名前は聞いたことがあるけど具体的になつてるか知らなくて、実際に仕事内容を聞いてみたら、想像以上に大変そう、でも楽しそう、でより一層興味がわきました。

正直、今回の二つの講演を聞くのは少し面倒くさく感じていたけれど、実際に講演を聞くと興味深いことが次から次へと耳に入ってきて想像の二倍を超える面白さだった。新しい発見もすることができ、将来のことについてまた深く考えることができた。

この講演会を通して僕はとても成長できたと思う。新聞会社で働く三好さんは自分のやっている仕事に誇りを持っているのが講演会を通して伝わってきた。僕も将来誇りを持てるような職について高校生に伝えたいと思った。

色々な人の話は聞きいたようなかんがえかたをまなぶということぬたいせつさをまなぶことができました。。こんごのながいじんせいなのなかでもとてむたくさんのできごとがあるのでこんかいおしえてもらったことをいう

さまざまな経験と経歴を持つ方々から普段聞くことのない話をしていただき、良い経験になりました。自分がやりたいことや将来の夢についてまた意識するきっかけになったので、それだけで終わらず、身近なことに疑問を持ち解決法を考えたり新聞を通して社会問題について理解するなど行動に移していこうと思いました。

立場がそれぞれ違う方たちからお話を聞いて、自分にあった行き方をすることが大切だと思いました。どんなことをするのにしても楽しくはなくて、大変なことは多いけど、それを乗り越えることで何かいいことを見つけたり、自分が再出発するきっかけを作れたりすることがわかったので、自分のこれからの人生でも何かを活かしていきたいです。

今回お話を聞いて自分の将来について改めて考え直すきっかけになりました。また、興味のある職業について今まで知らなかったことや仕事のやりがいなどを聞いてより夢をかなえたいと感じ、今自分ができることやしてみたいことに挑戦したりもっと「今」を大切にしたいと思いました。

自分の知らない世界を知れました。5時間目のやつでは上でも書いたんですけどそんなこと考えたことなかったしあまり将来のことを考えていなくて、そういう面があることに驚きました。どんどん働き方が変わっていく上で出てくる問題に対してどのようにして対策し乗り越えていくことが必要か、それを考えておきたい機会になりました。2つ目の新聞では、全然新聞とか読まないのいろいろな工夫がされてあることが面白いと感じました。まずインタビューする時点からよく考えられていて、そこに注目するのかといったものもたくさんありました。書き方もいかに読者が読みやすいかを考えて作られていて面白いと感じました。どちらの講座も自分が充実した生活をこれから送っていく上でとてもな役に立つものだと感じました。今日学んだことを活かし生活していきたいです。

今回の講演会は2講演ともすごく自分のためになったと感じました。そして、将来の選択枠もとても広がったと思います。人生を自分より長く生きている大人にお話をしてもらおう事は、なりたい夢に1歩でも近づけるんだなと思いました。なのでもっといろんな大人の方に話を聞いてみたいと思いました。

今回の講座を聞いて、自分の将来について改めて考えるいいきっかけになりました。私にはこれといったなりたい職業はまだ見つかっていません。でも、これからの学校生活で自分のしたいことを見つけ、将来に活かすことができるようにしたいです。

一番興味のある口座が聞けたわけではなかったけれど、自分の知らないことが多くて、自分の興味のある分野についても調べ足りないのではないかなと思いました。経験者の話を聞くことで、げん場の雰囲気やこれから必要なこと、新しい価値観などを身につけることができたと思います。これを生かして、社会に必要とされる人間になりたいです。

それぞれの仕事や活動にはそれぞれそれなりの理由があるということがわかったがその理由が必ずしも正しいと感じるかどうかは人によって変わってくるのではないかなと思った。実際に僕は1つ目の講座の活動に賛同はできませんでした。でも様々な活動を知ることによって自分が本当にすべきことを見つけられるのではないかなと思うので新しい分野についても学んでいくべきだと思った。

まだまだ知らないこととか、初めて聞いたこともたくさんあったりしたのでとても良い機会になりました。その中でも人生のチャンスを掴むためにはどうしたらいいのかなどが特に印象に残っていて今後の自分の人生にも活かしていけたらいいなと思いました。

三好さんの話を聞いて新聞は人と人をつなげてくれる一種のコミュニケーションだと感じました。新聞離れをしている私たちの世代ですが、三好さんのおっしゃっていたように、まずは自分の興味のある見出しや全文だけでも読んでみようともいいました。学校の授業などでインタビューの課題が出ることもあるけど、今回インタビューにおいて、下調べをきちんとすること、3つの的を得た質問を用意していくことが大事であるということを知れたの、次回だれかにインタビューするときに実践しようとおもいました。

私は今まで自分のしたい仕事が多分わからなかったり見つけられずにいたけど、今回様々な人の話をきき、共有したことで自分の将来の考えに役立つ授業としてできたのでよかったです。これから自分が興味を持てることを見つけ出して少しずつ考えていこうと思います。